

(仮称) 文京区児童相談所建設工事説明会 質疑概要

1 日 時 令和4年6月29日(水) 午後6時30分から7時50分

2 場 所 文京シビックセンター4階 シルバーホール

3 出席者

文京区子ども家庭部 子ども家庭支援センター児童相談所準備担当課長 佐藤

文京区子ども家庭部 子ども家庭支援センター主査 日向野

文京区施設管理部 整備技術課長 大畑

文京区施設管理部 整備技術課建築担当主査 加藤

株式会社松下産業 工事統括部部長 西濱

株式会社松下産業 工事部部長 丸岡

株式会社松下産業 生産技術部副部長 竹内

株式会社松下産業 現場代理人 原

株式会社松下産業 営業1部担当部長 多田

株式会社東畑建築設計事務所 第3設計室室長 炭田

株式会社東畑建築設計事務所 第3設計室主幹 森本

4 参加者数 17名

5 質疑概要

Q1: 工事車両の出入りに際して、一部の工事において道路使用と片側交互通行との説明がありました。頻繁に出庫します。出庫の度に誘導員に声を掛けて対応してもらうのは、双方にとってストレスです。道路使用を前提の計画にしかありませんか。

A1: できるだけ入出庫に支障がないように、工事車両を配置しますが、万一入出庫に影響があるようでしたら、誘導員にお声がけいただき、工事車両を一時的に移動する等の対応をします。また、お示した計画は、敷地の西側のスペースを最大限に活かすことで、道路使用による作業を最小限に留めたものです。

Q2: 杭工事は騒音が伴う工法でしょうか。

A2: オーガーで掘削したところに杭を挿入するといった、騒音を軽減した工法で計画をしています。

Q3: 誘導員は機動的に対応できる人員を配置してください。

A3: 安全な誘導できるよう、適切な配置を考えていきます。また、誘導員に任せきりになるのではなく、現場代理人も常に気を配って対応できるよう努めます。

Q4: 粉塵対策はどのように行いますか。

A4: 既存基礎の解体工事に伴う粉塵に対しては、作業中の小まめな散水により、粉塵の飛散を抑えるよう対応していきます。また、躯体工事においては、建物の外周に足場を立て、

メッシュシートを張り、ほこりの飛散を抑えられるよう対策を講じます。

Q 5 : 一般抽象的な対応ではなく、具体的な対応を示して欲しいと思います。

A 5 : 例えば入出庫については、道路使用が発生する工事日を予め個別にご案内し、ご都合を伺って調整させていただく等、できる限りの対応をさせていただきます。

Q 6 : 工事は敷地内で完結するのが当然ではないでしょうか。ましてや、幅員の狭い道路の一部を使用しての工事計画は納得できません。

A 6 : 敷地内に工事車両を収めて工事を進めることが最善であると認識しています。しかしながら、そのような検討を行った上で、やむを得ない方策として、仮囲いを敷地側にセットバックし、できるだけ工事車両が道路にはみ出ないような計画としています。

Q 7 : 設計は、周辺環境や景観を考慮してなされるべきではないでしょうか。

A 7 : 設計にあたっては、児童相談所に必要な機能を備えるため、法的に建築し得る5階建ての施設とするか等、様々な検討を行ってきました。その中で、周辺環境を考慮し、地下1階、地上3階に高さを抑える計画としています。また、竣工後は、周辺の道路状況を踏まえ、建物をセットバックした配置とし、緩衝帯としての緑地や空地を設ける等の工夫をしています。

6 主なご意見

- ・近隣の葬儀場での泣き声が、一時保護された子どもに漏れ聞こえ、悲しみに触れることのないよう対策をお願いします。